

令和7年度 第1回学校評価アンケートの分析

設問項目	肯定的回答			分 析 内 容
	生徒	保護者	職員	
【設問1】 楽しい場	92%	91%	100%	生徒、保護者、職員とも肯定的な回答であった。生徒で見ると「そう思う」と回答した生徒が235名であった。これは、「ややそう思う」と回答した生徒134名を大きく上回り、全体の9割近くの生徒が学校は楽しい場所であると回答したことになる。これは、1学期に体育祭、修学旅行、グリーンスクールなどが行われ、行事を中心に学年、学級づくりがなされ、充実した学校生活を送れたからなのではないかと推測できる。 しかし、「そう思わない」と回答した生徒が10名、「あまりそう思わない」と回答した生徒が22名であった。個に対して組織的できめ細やかな対応をさらに心がける必要がある。
【設問2】 学校施設	96%	95%	79%	生徒、保護者ともに肯定的な回答が95%を超えている。きれいな校舎で各教室にエアコンがあり、生徒は快適に学校生活を送っているようである。しかしながら、体育館の老朽化の指摘が自由記述にもみられる。職員においては、ICT機器においてGIGA関係の通信速度の遅さから授業での活用の不便もあり80%に達していないと考えられる。市に現状を報告し改善を図るとともに施設をきれいに保ち、大切に使用していくことが重要である。
【設問3】 情報発信	92%	91%	100%	生徒、保護者、職員とも肯定的な回答であった。さくら連絡網を活用し、お知らせや急な連絡、学校便りや学年便りなどの情報配信に肯定的な評価をしてもらえたと考える。今後も積極的に情報発信ツールを活用し、効果的な発信に努め、生徒や保護者のニーズに応えられるように努力していきたい。
【設問4】 地域交流	72%	69%	82%	他の設問と比較し、肯定的な回答が低い傾向にある。2学期以降は職場体験学習や職業人に学ぶ学習において、地域の方々との交流を深めながら学ぶ機会があるが、地域の学校理解が深まる情報発信を心がけたい。
【設問5】 いじめ防止	86%	80%	100%	生徒の回答を見ると、「あまりそう思わない」と回答した生徒が46名、「そう思わない」と回答した生徒が10名であった。いじめゼロ学活や教育相談、いじめアンケートなど、いじめを防止する取組が計画的に行われているが、いじめが「0」というわけではない。いじめ事案に対しては、積極的に認知し、解決に向けて組織的に対応していく。 今後も組織的にいじめを防止していく努力を継続していくことが必要である。また、いじめ防止に関し家庭との協力関係を築いていくことも重要である。
【設問6】 わかる授業	97%	83%	95%	生徒の回答を見てみると、「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答した生徒が、1年生は99%、2年生は93%、3年生は98%だった。職員の教材研究や授業改善の成果であると考えられる。保護者に関しても、家庭での生徒の話と家庭学習の状況を踏まえて肯定的な回答が82%であったと考えられる。学年が上がるごとに各教科とも難しい内容が増えてきているが、今後も学力向上に向け各教科で研修を行い、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでいく。
【設問7】 誠実な相談活動	94%	88%	100%	普段からトラブルの防止、早期発見、丁寧な対応を心がけている。しかし、生徒や家庭がきちんと納得できていない対応もあった可能性も考えられる。今後とも生徒や保護者との関わりを大切にして、信頼関係を獲得する努力を継続していかなければならない。

設問項目	肯定的回答			分 析 内 容
	生徒	保護者	職員	
【設問８】 生徒理解 公平な評価	89%	82%	100%	保護者の回答を見てみると設問６と同じように肯定的な回答が８０％前半である。学習面では、１学期は１回の定期テスト（５教科）で通知表も５教科の評価のみの通知であるから、保護者としてわかりづらいところもあると思われる。職員としては、しっかりと準備し年間指導計画を確認しながら適切で公平な評価をして、説明がしっかりとできるように取り組んでいく。 また、日頃から生徒個々の様子の把握に努めるために、観察、声かけ、アンケート等を通して生徒理解に努めていく。また、教育相談や２者面談も定期的に実施していく。気になることがある場合は、保護者に生徒の様子を随時伝えていく。
【設問９】 教育環境	96%	94%	95%	生徒、保護者ともに肯定的な回答がほとんどであった。各フロアの掲示物は、生徒の興味関心を高めるものや学年としての一体感を生むものが多く掲示されている。一方で、教室や学年室、特別教室などの掲示物や環境整備など、まだまだ改善できる場所があると思うので、日頃からの心がけを大切にするとともに、毎月の管理場所安全点検を確実にし、修繕できる場所は迅速に直していくよう努力していく。特に、体育館の老朽化に伴う不良箇所については、市と連携して改善に努める。
【設問１０】 授業への取組 ・時間を守る	94%	94%	92%	東金中のスローガンである「あ・じ・み・そ」の「じ」時間を守ることを意識し、生徒は２分前や５分前を呼びかける活動を積極的に行っている。時間を意識させることを、更に徹底できるように学校全体で取り組んでいきたい。
【設問１１】 交通ルールを守る	98%	79%	58%	今年度も交通安全については、機会をつくり指導をしている。生徒のアンケートはほぼ全員が交通ルールを守っていると回答している。しかし、保護者は７９％、職員は５８％と低い数値となった。生徒の交通安全の意識をより高め、安全な登下校を目指したい。毎年複数件の交通事故が発生し、地域、保護者から心配する声もあがっている。当事者意識を持たせ、生徒が安全に登下校できるように指導や呼びかけの方法を改善工夫努力していく。
【設問１２】 元気なあいさつ	89%	81%	68%	今年度も生活委員会によるあいさつ運動を行い、「あ・じ・み・そ」の「あ」あいさつを大切にするために取り組んでいる。昨年度から９０％に達していなかったため、委員会活動等、生徒の自主的な活動をとらして、活発にさせたい。社会生活を営んでいく上で重要であるあいさつが、さらに定着して習慣化するように今後も継続的に指導していく。
【設問１３】 身だしなみ	97%	95%	97%	「あ・じ・み・そ」の「み」身だしなみを整えることを意識している。昨年度同様、生徒・保護者・職員とも９割を上回る結果となった。生徒の規範意識の向上や家庭での理解・協力が、服装や身だしなみにあらわれている。今後も清潔感のある東金中生らしい身だしなみで生活できるよう指導を継続していく。
【設問１４】 清掃活動	96%	93%	74%	「あ・じ・み・そ」の「そ」掃除の行き届いた環境を意識し清掃活動に積極的に取り組む生徒が多い。職員は「もっと清掃活動を丁寧に行える」という期待の表れにより、肯定的な意見が生徒、保護者と比較して低いと考えられる。今後もきれいな学校で学習できるように職員による率先垂範を心がけながら、生徒が公共心や勤労の精神をもって意欲的に清掃活動に取り組むように指導していく。
【設問１５】 保護者の参加	90%	90%	100%	１学期は授業参観、進路説明会、部活動保護者会、体育祭があり、平日開催であったものの、多くの保護者の参加を得た。生徒の様子や学校の取組を知ってもらうことは大変重要なことだと考える。今後も保護者が参加しやすいよう行事を工夫して行っていく。